

C A P こどもワークショップを開催するにあたって

C A Pのワークショップに関心を持っていただきありがとうございます。こどもワークショップを開催するにあたっては、以下の条件を満たしている必要があります。ご検討の上、お申し込み下さい。

おとなワークショップを終えていること。

こどもにワークショップを提供する場合には、事前に必ずワークショップを受けるこどもたちの保護者、先生方が“おとなワークショップ”を受けていなければなりません。“おとなワークショップ”には人数制限はありません。

大人ワークショップは子どもワークショップ実施と同じ年度内に実施しなくてはなりません。

新しい年度に子どもワークショップを実施する場合は、大人ワークショップから実施する必要があります。

1 クラス単位でワークショップを行うこと。

“C A P こどもワークショップ”は、本来20人～30人を想定して作られています。私たちは学校の現場では、こどもたちの自由に発言する場、安心して発言する場を保証するために、1クラス単位で引き受けています。こどもたちはワークショップに“参加”することで、多くのことを学びます。また、クラス替があってもワークショップの効果が残るように、学年に複数クラスがある場合は全てのクラスがワークショップを実施することも必要です。

保護者は、こどもワークショップには参加できないこと。

こどもたちの自由に発言する場、安心して発言する場を保証するために、こどもワークショップに保護者が参加することはできません。ただし担任の先生にはその場所にいてもらい、お手伝いをお願いします。

担任の先生の協力が必要なこと。

ワークショップには担任の先生の理解と協力が必要です。ワークショップの前後にこどもたちにアンケートをとってもらっていますし、ワークショップのなかでの先生役を演じてもらいます。また、事前にクラスの様子を教えてください必要もあります。

事前に名簿を見せてもらうこと。

前もってワークショップを行うクラスの名簿を見せてもらいます。なぜなら、ロールプレイの中で、同じ名前を使わないように配慮しなければならないからです。いじめられる役や誘拐される役と同じ名前の子がクラスにいと、後で問題が生じる可能性もありますし、こどもたちが集中できなくなる恐れがあります。

ワークショップ実施に必要な時間について

小学1年生～小学2年生は45分（授業の1コマ分）×2日間で実施します。

（2日ともトークタイムの時間を含みます。）

小学3年生～小学6年生は90分（授業の2コマ分連続）×1日

トークタイムをとれること。

45分～1時間のワークショップが終わったあと、こどもたちがC A Pのメンバーと1人ずつお話をする時間と場所をとってもらいます。1人2～3分ずつのトークタイムです。そこでは簡単にワークショップの復習をします。

こどもワークショップの料金は2万円です。

ワークショップの依頼を受けてもすぐには対応できない場合もありますので、できるだけ早めに連絡して下さい。ワークショップの申し込みはファックスで受け付けています。

（留守電&ファックス 098-862-1686 まで）

留守番電話とファックスのみの対応ですので、メッセージかファックスを入れておくと、後日C A Pの担当者から連絡します。